

## 第4回「届け！避難者の声」レポート

飯舘村民の「悩み」	2人の声	・・・	1ページ
飯舘村民の「要望」	5人の声	・・・	2ページ
飯舘村民の「提案」	4人の声	・・・	4ページ
飯舘村民の「意見」	4人の声	・・・	6ページ
飯舘村民の「思い・考え」	4人の声	・・・	8ページ

### 第4回概要

集約期間

平成27年12月10日～平成28年1月13日

集約方法

- 1) インターネット上専用投稿ページによる集約
- 2) 聞き取りによる上記投稿ページへの代理投稿

※無記名、複数投稿可

※「No.」は、第1回レポートからの通し番号となっています。

実施団体 いいたてネットワーク

「届け！避難者の声プロジェクト」

第4回「届け！避難者の声」レポート

第4回集約期間：平成27年12月19日～平成28年1月13日

飯舘村民の「悩み」 (1 / 1)

No.	年代	性別	一番小さなお子さんの学校は？	悩み
57	60代	男性	学校等は卒業している	村に戻る人が少ないと、草刈・缶拾い・村道手入れなどの人足が増えることを心配している。作業をしないと地域の景観が悪くなる。
58	70代	男性	学校等は卒業している	<p>区や組の世話をする世代の人がいない。                      避難前であれば、40代～50代が地域の担い手となり、区や組の役員をするが、その年代が避難先で新しい生活を始めている。                      その年代にこれからどうするかと聞くと、「子供が小さいうちは、飯舘村に戻らない。その先は、どうなるかわからない。」との話が多い。</p> <p>とりあえず、村に戻った60代70代が頑張るしかない。                      その先は、今は考えない。                      子どもに戻ってこいとは、言えない。</p>

飯舘村民の「要望」 (1/2)

No.	年代	性別	一番小さなお子さんの学校は？	要望
59	40代	男性	小学生	<p>福島市の「パブリック・コメント制度」が羨ましいです。同じ自治体なのに、どうして飯舘村では行わないのでしょうか。</p> <p>福島市のHPを見ると下記のとおり書いてあります。  「パブリック・コメント制度」とは、福島市が、基本的な施策等に関する条例や計画等を策定する際に、市民の皆様はその内容を案として公表し、その案について寄せられた意見を十分考慮した上で最終的な意思決定をし、寄せられた意見とそれに対する市の考えかたを公表する一連の手続のことです。  皆様のご意見をどうぞお寄せください。</p> <p>飯舘村でも、福島市のように行ってください。  そして、福島市のように、寄せられた意見について、村の考え方を公表してください。  また、懇談会で発言された意見やそれに対しての村の考えも公表してください。  どのようなことが話されているのか、懇談会に参加できないので全くわかりません。不信感だけが募ります。</p> <p>もっともっとオープンにしてください。  都合のよい情報だけ広報いいたてで流さないでください。  よろしくお願いします。</p> <p>と書いて、どうして避難していて懇談会に参加できない私が村にお願いしなくてはいけないのかと腹立たしくなりました。</p> <p>なんか悔しいです。</p>

## 飯館村民の「要望」 (2/2)

No.	年代	性別	一番小さなお子さんの学校は？	要望
60	40代	男性	小学生	<p>住民意向調査についての要望です。</p> <p>1) 回答者を「世帯の代表者」としてはいますが、中学生以上の飯館村民全員が回答すべきです。世帯の代表者だけに聞くなんて、いつの時代の話ですか。全村避難という今までに経験のない有事です。家族の中でも考え方が異なります。全員に聞くべきです。聞かなければなりません。</p> <p>2) 回答用でしょうがボールペンが同封されていました。それにコストをかけるのであれば、もっと、アンケート項目を濃くしてください。例えば、別紙で「子供を持つ親御さん向け」とか「村への提案」とか、将来の議論につながるようなアンケートを取ってください。莫大なお金をかけて、このアンケート項目だけでは、もったいないです。</p> <p>3) 問23については、今の状況（村での29年4月からの学校再開について、保護者の多くが反対している。）から考えている質問ではないと思います。まったく頓珍漢な質問です。</p> <p>比較するためのアンケートも大事だと思いますが、もっと自由に、もっと積極的に、そして、村民全員に聞くアンケートを求めます。</p>
61	60代	女性	学校等は卒業している	村民の人と気楽に会話できる場所として、生鮮食料品を扱うスーパーが欲しい。
62	60代	女性	学校等は卒業している	各部落、各集落の出入り口に防犯カメラをつけてもらえると、帰村しても安心できる。
63	60代	女性	学校等は卒業している	村に戻ってもスーパー、病院はないので、近くの町まで行かなければならぬ。 川俣、福島、南相馬への買い物、病院に通うために、飯館村から車を出して欲しい。

飯舘村民の「提案」 (1/2)

No.	年代	性別	一番小さなお子さんの学校は？	提案
64	40代	男性	小学生	<p>深谷、大火、関根松塚の大規模太陽光発電は、売電だけだと思うので、自然エネルギーが実感できません。</p> <p>太陽光発電によるオブジェ、ライトアップ・・・、などなど、楽しめる太陽光発電が見てみたいです。</p> <p>例えば、「LED蛍」 太陽光発電で貯めた電気を、夜利用する。飯舘村の暗闇の中、「蛍が舞っている？」と錯覚するような、動きがある光のオブジェ。道の駅なんかに良いかも？</p> <p>以前、御影石を使って行ったストーンコンベンションのように、若手作家のコンクール、発表の場でも良いかもしれませんね。</p> <p>こんな風に飯舘村がなったらいいかな。と思う提案でした。</p>
65	60代	女性	学校等は卒業している	<p>村をあげて「むろ」を作ってはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「むろ」に、じゃがいもやかぼちゃ、梅干し等の加工品を入れて置けば、冬期間でも食べられる。</li> <li>・帰村すると近くにお店がないため、どうしても1回の買物が多くなると思う。冷蔵庫等に入りきらないと思う。そういう時、「むろ」があると助かる。</li> <li>・「むろ」にすれば、放射能の影響も少ないのではないか。いくら低い放射線量率になったとしても、周りは山なので、とても気になる。であれば、地下につくる「むろ」であれば、少しは影響が少ないのではないか。科学的に根拠がないかもしれないが、少しでも安心したいと思う。</li> <li>・飯舘村で作った米や野菜を孫に食べさせることは、できない。せっかく孫が遊びに来て、食べさせるものがない。であれば、村外で作った米や野菜などを、地下にある「むろ」に保管して、それを食べさせれば、大丈夫。飯舘村でも、野菜や手作りのものを食べさせてあげたい。</li> <li>・「むろ」であれば、ねずみの心配もいらない。避難先と行ったり来たりしていても、安心。</li> </ul> <p>飯舘村にあった「むろ」はどのようなものなのか。村に教えて欲しい。そして、それに対して村からの支援があれば助かる。</p> <p>北海道のむろを紹介するテレビを見て、飯舘村でも欲しいと思った。</p> <p>よろしくお願いします。</p>

飯舘村民の「提案」 (2/2)

No.	年代	性別	一番小さなお子さんの学校は？	提案
66	70代	男性	学校等は卒業している	<p>避難先で、パークゴルフを楽しんでいます。 飯舘村の人たちと話すことができ、とても楽しいです。 また、1日で8,000歩から10,000歩くらい歩くので体にもいいです。 パークゴルフは芝の上でやるので、少しの雨でも大丈夫です。風の日も大丈夫です。グランドゴルフよりも、できる日が多いです。 正式なパークゴルフ場をセンター地区や飯樋のグランドなどに作って欲しいです。</p> <p>帰村しても、何もやることがない。帰りたと思えなくなる。 パークゴルフなら、やってみたい。村の人とも話せる。そこから、どこかの家にお茶のみに行ったり、泊りででかけたり・・・。</p>
67	70代	男性	学校等は卒業している	<p>営農再開事業で、「飼料米」と「牧草」を認めて欲しい。 草刈と景観作物だけでは、先が見えない。 「食米」を生産する前に、「飼料米」を生産して、地域での生産者の確認、土づくり、機械稼働・メンテナンス・・・準備を進めればいい。 ただし、営農再開のための準備ということで、生産費（種苗代・肥料・農薬・減価償却等の資材費等と農業委員会で決めている労賃の合計）を確保できるよう支援が必要。 飯舘村の田んぼで、再び食用米を生産するには、それくらいの準備が必要。 「牧草」も同じ、すぐに作って計測しながら、早期に安全を確認しなければならない。牧草が大丈夫であれば、また、牛を飼いたい人がいると聞いたことがある。</p> <p>営農再開事業は、何のために行うのか。 荒らさないため、土づくりのためだけではない。 「食米生産」「牛飼い」のための準備として「飼料米」「牧草」を取り組むくらいの意気込みがないと、飯舘村の農業は先に進まない。と思う。</p> <p>ぜひ、「飼料米」「牧草」をすぐに取り組んでください。</p>

第4回「届け！避難者の声」レポート

第4回集約期間：平成27年12月19日～平成28年1月13日

飯舘村民の「意見」（1／2）

No.	年代	性別	一番小さなお子さんの学校は？	意見
68	40代	男性	小学生	<p>平成29年4月から飯舘村内で幼稚園・小学校・中学校を再開させるのは、飯舘村の現状を見るととても不安です。早すぎます。</p> <p>「急いてはことを仕損じる」との故事があります。こんな大事なことは、手順を踏んで、時間をかけながら、子供たちにとって良い方法を、教育委員会と保護者一緒になって見つけ出し実行しなければならないと思います。</p> <p>村長が、先にどうこういうべきことではありません。教育委員会が、保護者と議論の上、方針を出すべきです。</p>
69	60代	女性	学校等は卒業している	<p>田んぼや畑をお願いしたくても、やってくれる若い人がいない。田んぼや畑を国に買い取って欲しいくらいだ。</p>
70	60代	女性	学校等は卒業している	<p>大人でさえ、村に戻れないと言っているなか、子供を村に戻すわけにはいかない。絶対だめ。</p>

飯舘村民の「意見」(2/2)

No.	年代	性別	一番小さなお子さんの学校は？	意見
71	50代	男性	子供はいない	<p>今の飯舘村のあり方将来の考え方に危惧しております。</p> <p>飯舘村の放射能汚染のレベルはとても帰還できるレベルではありません。しかしながら政府（経産省，官邸）は帰村ありきでリスクを矮小化して喧伝しています。御用学者と天下り先企業を活用して、原子力村の存続を図りながら、日本国民の血税を垂れ流して利権を恣にしています。村民は強い被ばくをすでに受けているにもかかわらず、帰村や放射性廃棄物との共存を迫られています。</p> <p>東電による賠償の充実と移住の権利を認めることを柱とした将来の計画をすべきであります。どうしても村に残りたい人のためには宅地に関して完璧な除染と放射線を遮断できる住宅の建設を行うべきです。大した効果のない除染（村の面積の8割である山林には何もせず、除染の結果に環境省は責任を取らないどころか線量の目標値すら示さない）で安全宣言をされたのでは、高濃度汚染を受けたにもかかわらず避難をさせなかった2011年の3月から6月の被ばくに続く被害の上塗りになります。</p> <p>村の土地は再生可能エネルギーの生産（太陽光発電、風力発電、小水力発電などできるだけ無人で行える施設）のために使うか、放射性物質の処分場として活用し、その運営は東電に責任をもって行わせるか経産省が責任を持つべきです。そして、そこで上がる収益はすべて村民への賠償として配分すべきです。間違っても農業などはできないし、放射性食品の生産などをするべきではありません。たとえ隔離された土地で安全なものが作れたとしてもそこで働く人の被ばくリスクは高く、そこまでしてこの不毛の土地に人を誘致することは犯罪的な行為です。</p> <p>飯舘村の本当の価値（自然と共存し、のびのびとした空間でのコミュニティー）は数百年間は取り戻すことはできません。むやみに人的な被害を増やさず、放射性物質をできるだけ拡散しないように長期にわたり管理することが重要です。汚染地域への人の立ち入りをできるかぎり少なくして、線量が十分低下するまで静観することが、被害の拡大を防ぐことにつながります。今の計画では、ただでさえ過疎化が進んでいた村が今後存続できる可能性はとてつもなく低いものです。日本中に存在する過疎化対策をも視野に入れば飯舘村だけでなく、汚染のある地域からの移住政策こそ地方創生にかなうものであり、住民の生活基盤を確保することともなります。飯舘村と日本政府には帰村ありき、放射線の安全神話から脱却し、将来性のある抜本的な計画立案の再考を望みます。</p>



飯舘村民の「思い・考え」(1/1)

No.	年代	性別	一番小さなお子さんの学校は？	思い・考え
72	40代	男性	小学生	<p>子供は転校した。                      私たち夫婦も、新しい場所で頑張るしかない。                      新しい場所で、自分たちの居場所をつくる。                      新しい場所で、これからの人生を考える。</p> <p>新しい場所で、生きていく決心をしました。</p> <p>飯舘村のことは、もう考えないようにしよう。                      それぐらいでいいじゃないかな。</p>
73	60代	男性	学校等は卒業している	<p>飯舘村の山の放射線量は高い。                      その山の除染をやらないということは、飯舘村の80%占める山が利用できないということ。山菜も、キノコも、もう食べることができない。                      山に降った水は、川やため池を通過して、田んぼに入る。                      山も、川も、ため池も除染しない。</p> <p>もう、飯舘村の農業はダメだ。</p>
74	60代	男性	学校等は卒業している	<p>村に戻りたくないのに、補償が切れたら、戻らざるを得ないと聞いた。かわいそうだ。そんな人への補償はもっと考えるべきだ。</p>
75	70代	男性	学校等は卒業している	<p>帰村しても、仕事がないと、やることがないと、帰村する意味がない。</p>